

履修案内

●カリキュラムの特徴

機械情報システム学科のカリキュラムは、機械系と情報系の両方の長を有し、ハードウェアを主体とした内容となっています。

機械情報システム学科では、エネルギー（ハイブリッドソーラーカー）とロボティクスについて、PBL（Project Based Learning）コースを設けました。PBLは、それぞれのコースで与えられた課題に対して、学生が計画立案から結果を出すまで、自主的に取り組み、様々な問題を解決していく、体験型のユニークな授業です。

その活動は週1回の時間割上の時限だけではなく、授業期間の空き時間や夏休みなどの長期休暇を利用して行います。また、活動成果を夏休み体験学習イベント、大学祭など学内イベントで発表すると共に、ロボカップサッカー、ソーラーカーレースなど学外のコンテストへの参加を目指します。PBLプロジェクトはAから順に履修を行うものとし、途中からの履修は認められません。なお、履修定員があるため、履修希望者数が定員を超えた場合、履修できない場合があります。またPBLプロジェクトを履修する学生は同テーマの特別課題研究は履修することはできません。

また、学科科目群には教育職員免許状取得に必要な科目の一部が配置されています。それらの科目を履修することによって、学科卒業要件となる単位と同時に、教育職員免許状取得に必要な単位も修得できるようになっています。

さらに、専門科目を学ぶための基盤となる数学および物理学の修得を手助けするための学習支援システムが充実していますので、大いに活用してください。

●卒業要件

- ① コア科目のうち、全人教育・FYE科目群10単位を修得していること。
- ② コア科目のうち、言語表現科目群・社会文化科目群・自然科学科目群・総合科目群の各科目群から4単位以上を含み、24単位以上を修得していること。
- ③ 機械情報システム学科科目群より必修科目の27単位を含み62単位以上を修得していること。
- ④ 上記の条件を満たして、全学部開講科目から総計124単位以上を修得していること。ただし、32単位を超えるコア科目言語表現・社会文化・自然科学・総合各科目群の単位数はこの合計に含まない。

●卒業までの単位配分

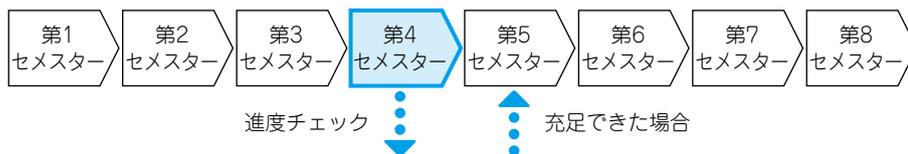
機械情報システム学科では、卒業までに、コア科目群、学科科目群、他学部・他学科開講科目など数多くの開講科目から、卒業要件および履修モデルに沿ってバランスよく学習できるカリキュラムが構成されています。

| | |
|-------------------------------------|---|
| コア科目 | |
| 全人教育・FYE科目群 言語表現・社会文化・自然科学・総合科目群 | 10単位 24単位(各科目群から4単位以上、上限32単位) |
| 機械情報システム学科科目群 | |
| 必修科目 選択科目 | 27単位 任意 |
| 自由選択科目 | 任意 他学部・他学科開講科目 他大学との単位互換科目 |
| 卒業に必要な単位数 | 124単位 (ただし、32単位を超えるコア科目：言語表現・社会文化・自然科学・総合各科目群の単位数はこの合計に含まない) |

●進捗チェック

機械情報システム学科において、第1 Semesterから第8 Semesterの間に、次の(1)および(2)の進捗チェックが行われます。

(1) 第4 Semester（2年次）終了時における進捗チェック



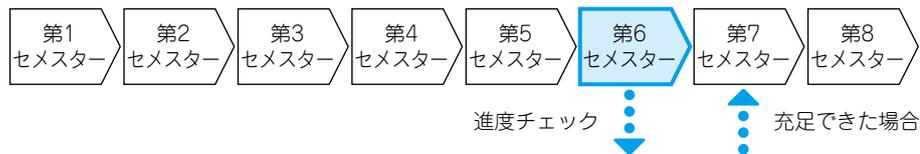
- ① 第2 Semesterまでの機械情報システム学科必修科目を修得していること。
- ② 総計62単位以上を修得していること。

充足できなかった場合

- 第5 Semester以降の開講科目は履修できない。
- 現学年に留める。



(2) 第6 Semester（3年次）終了時における卒業研究着手条件の進捗チェック



- ① コア科目のうち、全人教育・FYE科目群10単位を修得していること。
- ② 第4 Semesterまでに開講の機械情報システム学科必修科目を修得していること。
- ③ 総計93単位以上を修得していること。

充足できなかった場合

- 卒業研究（卒業プロジェクト）を含む第7 Semester以降の開講科目は履修できない。
- 現学年に留める。



●教育職員免許状

取得できる教育職員免許状
一覧 p.185

| 種 類 |
|-----------------|
| 高等学校教諭1種免許状（工業） |